

# チャペル週報

No.19

2019.10.28 ~ 10.31

死の陰の谷を行くときも  
わたしは災いを恐れない。  
あなたがわたしと共にいてくださる。  
あなたの鞭、あなたの杖  
それがわたしを力づける。

(詩編 23編 4節)



時計台 (大学博物館)・エンブレム

関西学院宗教センター

---

☆ チャペル・スケジュール ☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

10月28日(月) 神 森 泰一郎(神学研究科M2)  
経 音楽チャペル バロックアンサンブル  
人 広瀬 康夫(グリークラブ技術顧問)、New Directions(アカペラカルテット)  
理 大宮 有博(法学部宗教主事)  
聖和 聖書物語「たからさがし」

---

10月29日(火) 神 土井 健司(神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 宗教総部  
法 大宮 有博(宗教主事)  
経 宗教総部活動報告  
商 小田部 進一(神学部教授)  
国 音楽チャペル バロックアンサンブル  
理 前川 裕(宗教主事)  
総 学生団体 Salus Aqua  
教 森田 喜之(日本基督教団 大阪福島教会牧師)

---

10月30日(水) 神 バロックアンサンブルの演奏による音楽礼拝  
社 Bossa Nova チャペル 社会学部教員・学生有志  
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
商 Chapel in English Timothy O. Benedict(宣教師)  
人 宗教改革記念日を覚えて 嶺重 淑(宗教主事)  
国 ゲストスピーカーを迎えて(2) 大宮 有博(法学部教授・宗教主事)  
理 成田 いうし(日本基督教団 磐上教会牧師)  
総 村瀬 義史(宗教主事)  
教 宗教総部活動報告 山田 航輝(商学部3年)、橋詰 旺昇(教育学部1年)

---

10月31日(木) 神 宗教改革記念日礼拝 小田部 進一(神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 わたしにとっての "Mastery for Service"<sup>⑤</sup> 加納 和寛(神学部准教授)  
法 大宮 有博(宗教主事)  
経 井上 智(宗教センター宗教主事)  
商 音楽チャペル バロックアンサンブル  
総 メインストリーム協会  
聖和 幼稚園・保育所実習をふりかえって

---

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40

ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

11月1日(金) 経営戦略研究科のために

佐竹 隆幸(経営戦略研究科長)

---

# 「一つの体(からだ)」として

平林 孝裕

USJでもTDRでも「ハロウィン」にちなんだアトラクションが開催されています。いつの間にかこの年中行事も定着しつつあるようです。ハロウィンがキリスト教の行事でないことは言うまでもありませんが、無関係でもないのが難しいところです。“Halloween”との名称も“All Hallows’ Eve”が縮約されたものと云われます。“All Hallows’ Eve”は“All Saints’ Day”(諸聖人〔Saints=Hallows〕の日)の前夜の意味です。

中世、ヨーロッパにキリスト教が伝播する過程で信仰に生きた功労者(聖人)を記念する日が定められます。その日は11月1日、前日はキリスト教以前、ケルト人の年末でした。ケルト人は一年の終わりにあの世とこの世の往来が可能となり、祖先の霊が家族の許に戻ると信じていました。あわせて悪霊や魔物も往来したので魔除の明かりを灯しました。その様子が時代と共に姿をかえ、悪霊や魔物などの仮装となり、カボチャのランタンとなります。祖先・死者とどう関わるかに思いをいたすと、日本の「お盆」との並行に目が向きます。故郷では8月がお盆でしたが、先祖の霊を迎え親族と共に自分に先立ついのちに心向けるときを過ごしました。カボチャのランタンではありませんが、いくつもの盆提灯をともしました。そしてオレンジ色のホオズキ(鬼灯)を仏壇に供えました。東西をこえて死者とのつながりに私たちが心向け続けてきたことが分ります。理由は明らかでしょう。私たちのいま・この生は自分だけの力によって在るのではなく、先立つたくさんのいのちの営みがあっての果实だからです。

“All Saints’ Day”の伝統は今日も、カトリック教会の「諸聖人の日」、プロテスタント諸教会の「聖徒の日」(逝去したすべての信徒を記念する日として)などとして継承されています。キリスト教会は「キリストの体」(エフェソ1:23)と証言されます。私たちのいのち・働きがキリストを「かしら」とする者たち一生者も死者も含んだ一の共同においてあるということです。過去を継承しつつ同じ体として想いと使命を分かちつつ現在を生きる…。翻って、関西学院もそのような「キリストの体」ではないでしょうか。ランバスのはじめ学院を支えた幾多の先達、たくさんの同窓、学生・教職員が一つの体です。関西学院という一つの体として想いと使命を共有しながら日々の働きに励みたいと願います。

(国際学部教授・宗教主事・学部長)

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50～18:20 1405教室)

10月主題:「イエスのたとえ話に学ぶ」

10月31日(木) 村瀬 義史(総合政策学部宗教主事)

11月主題:「共に生きる世界は可能か」

11月7日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

14日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

21日(木) 井上 智(宗教センター宗教主事)

28日(木) 山本 俊正(宗教総主事)

## ●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも(クリスチャンでなくても)参加できますのでどうぞお越しください。

11月10日(日) 10:00～11:00「永眠者記念礼拝」

11月24日(日) 10:00～11:00「収穫感謝礼拝」

12月15日(日) 10:00～11:00「クリスマス礼拝」

関西学院会館ベーツチャペル

## ●西宮北口キャンパスチャペル

阪急西宮北口駅隣接の「関西学院大学西宮北口キャンパス」では、月一回、火曜日にチャペルアワーを実施しています。どなたでもご自由にご参加ください。(10:35～11:05)

11月12日(火) 中道 基夫(神学部教授)

12月10日(火) 岩野 祐介(神学部教授)

関西学院大学西宮北口キャンパス

(阪急西宮ガーデンズゲート館8階:阪急西宮北口駅東改札すぐ)

※同日日程・場所で11:15～12:45にRCCキリスト教講座を開講しています(参加費無料・申込不要)

お問い合わせ:関西学院大学キリスト教と文化研究センター tel(0798)54-6019

## ●オルガン音楽の泉 2019 Fall semester

パイプオルガンの響きに想うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第35回 11月29日(金) 椎名 雄一郎(活水学院オルガニスト)

第36回 12月13日(金) 能島 亜未(本学オルガン講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

## ●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスイベントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。参加費(入場料)は宗教活動委員会を通して関連団体へ献金させていただきます。

と き:12月17日(火)17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

ところ:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

参加費(入場料):2,100円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売:

\* 関西学院大学生協 (tel.0798-53-5150)

\* チケットぴあ Pコード 164-585

\* ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:ファミリーマート、セブン・イレブン

\* ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内)

お問合せ:関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

主 催:関西学院

共 催:関西学院後援会・関西学院同窓会